

News Release



2026年1月8日
住友電装株式会社

住友電装と SkyDrive が空飛ぶクルマの開発において協力体制を強化 ～ソポーター契約を締結し、プロジェクトマネジメントを加速～

住友電装株式会社（本社：三重県四日市市、代表取締役社長：漆畠 憲一、以下：住友電装）は「空飛ぶクルマ」※1を開発する株式会社 SkyDrive（本社：愛知県豊田市、代表取締役 CEO：福澤 知浩、以下：SkyDrive）とソポーター契約を締結したことをお知らせいたします。本契約に基づき、空飛ぶクルマ専用のワイヤーハーネス開発および、航空機用知見の蓄積を通じた両者の事業発展を推進いたします。



■契約締結の背景と目的

SkyDriveは、「100年に一度のモビリティ革命を牽引する」をミッションに、「日常の移動に空を活用する」未来を実現するべく、空飛ぶクルマの開発を推進しています。2025年の大阪・関西万博でのデモフライトを経て、現在は2028年の事業開始に向けて取組みを推進しています。

住友電装は、「Connect with the Best」をグループ基本理念とし、自動車用ワイヤーハーネスのリーディングカンパニーとして、「つなげる、つながる」技術をもとにモビリティ社会の発展に貢献してきました。長期ビジョン「2030ビジョン（30V）」を掲げ、ワイヤーハーネスをコアとしたモビリティ社会のパートナーとして、“期待を越える可能性の実現”へ挑戦するべく、新たにSkyDriveとソポーター契約を結ぶ運びとなりました。

住友電装が長年にわたり培った自動車用ワイヤーハーネスの開発・量産技術を空飛ぶクルマの機体開発に応用し、高い品質と生産効率を実現します。これにより、機体の信頼性向上と量産体制の構築を進め、空飛ぶクルマの開発加速とエアモビリティ社会の実現を共に目指してまいります。

■各社コメント

株式会社 SkyDrive 代表取締役 CEO 福澤 知浩 様

自動車分野で長年にわたりグローバルな量産・品質実績を積み重ねてこられた住友電装様に、サポーターとしてご参画いただけることを心強く感じております。住友電装のエンジニアの方々の技術をお借りしながら、航空機レベルの安全性と自動車レベルの効率性を併せ持った理想的なハーネスシステムを構築し、世界に誇れる安全な機体開発を推進してまいります。

住友電装株式会社 代表取締役社長 漆畠 憲一

このたびの SkyDrive 様とのサポーター契約により、従来のモビリティ分野から空のモビリティ分野へ進出することに大きな期待を寄せております。これまで当社が培ってきたワイヤーハーネスの関連技術を活かし、新技術や新分野に挑戦し、快適で安全な未来のモビリティ社会の実現に貢献してまいります。

■主な協力事項

サポーター契約※2 を締結し、以下 3 点の実現に向け協業を行う。

- (1) 自動車用ワイヤーハーネスの開発・量産技術を活かした生産体制の構築
- (2) 航空機用部品から自動車用部品への置換えや応用した部品による低コスト化/軽量化
- (3) 「空飛ぶクルマ」の信頼性向上のための研究（高電圧・大電流対応、軽量化等）

以 上

※1 空飛ぶクルマ：電動化、自働化といった航空技術や垂直離着陸などの運行形態によって実現される、利用しやすく持続可能な次世代の空の移動手段。

※2 サポーター契約：SkyDrive が提供する、空の産業革命をともに創造していくプログラム